

さらにアフタフィルタを選べば、すぐれた脱臭・抗菌・抗ウイルス効果が加わります。

エコ＆脱臭ハイブリッドフィルタ(脱臭・抗菌効果) CF-23Aシリーズ

① 2つの原理で強力脱臭

◆常温触媒により臭いを酸化分解

新開発の常温触媒の作用により、オゾンから酸素と酸素ラジカルを生成します。
この酸化ラジカルが悪臭物質と反応して強力な酸化作用を発揮、悪臭物質を無臭物質に変えます。

◆特殊吸着剤により臭いを物理吸着

フィルタ表面に焼成している特殊吸着剤が、通過する悪臭物質を吸着して脱臭します。

② 銅イオンの添加による抗菌効果

銅イオンにより細菌の動きを低下させ、フィルタに付着した細菌の増殖を抑制します。

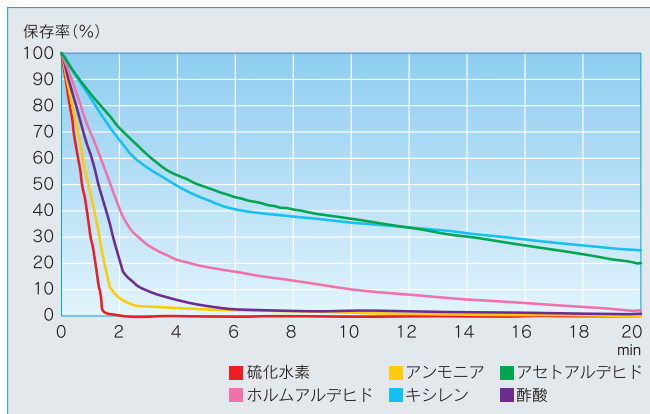
●抗菌効果 フィルム密着法 供試品：大腸菌、黄色ブドウ球菌 (CFU/枚)

	大腸菌	黄色ブドウ球菌
初発菌数	440,000	370,000
24時間後の菌数	10未満	10未満

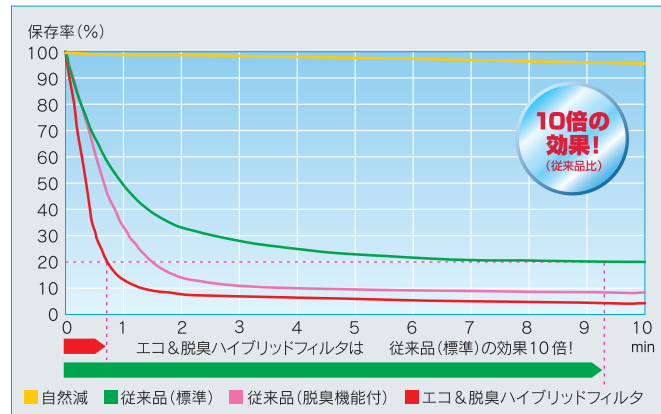
※試験機関

(社) 東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所
試験検査成績書 食第X00514号

●エコ＆脱臭ハイブリッドフィルタの性能



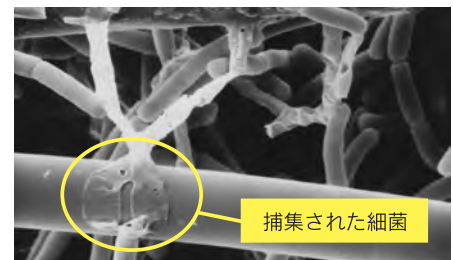
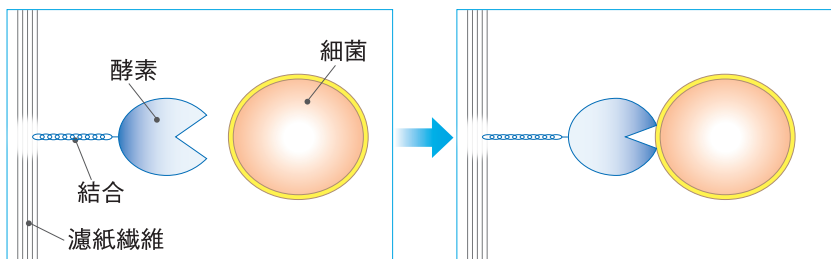
●通常の活性炭フィルタとの比較(臭気除去性能)



酵素＆活性炭フィルタ(抗菌・抗ウイルス・脱臭効果) CF-101/301/401

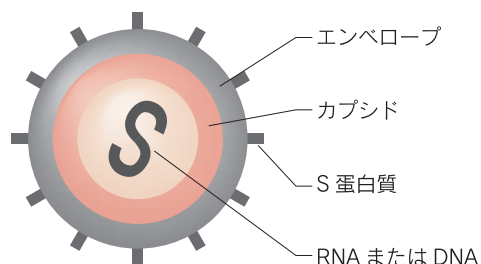
① 酵素の力で細菌の動きを抑制 ※1

病院や製薬・食品・飲料メーカーのクリーンルーム用フィルタに使われる酵素技術を応用した天然の酵素が、フィルタに捕集された細菌の動きを抑制します。



② 酵素の力でウイルスの動きを抑制 ※1

天然の酵素が、フィルタに捕集されたウイルスの蛋白殻(エンベロープ)を分解し、動きを抑制します。



現在同定されているウイルスの80%が蛋白殻(エンベロープ)を持っています。
このエンベロープを酵素で分解します。

※ エンベロープを有さないウイルスに対しては効果がありません。

●細菌に対する効果(抗菌性)

試験機関：財団法人 日本紡績検査協会
近畿事業所 試験番号 006348-1/-2
試験方法：JIS-L-1902
試験結果：99.99%以上除去 ※1 ※2

●ウイルスに対する効果(抗ウイルス性)

試験機関：財団法人日本食品分析センター
試験報告書 第204031510-001号
試験方法：ウイルス浮遊液を滴下し、TCID50法にて測定
試験結果：99.9%以上低減 ※1 ※2
※1 酵素フィルタに捕集された細菌・ウイルスに対して効果を有しますが、これによって無菌状態が作られるものではありません。

※2 この数字は、保証値ではありません。

③ 室内の生活臭を活性炭の力で脱臭

活性炭の微細孔により臭気分子を吸着し、室内の生活臭を除去します。